

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人カナンの園 多機能型事業所ゆいまある (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2024年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2024年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・少人数での発達支援をおこなっている。	・子どもに添った発達支援を行うため、一対一や二対一での発達支援をおこなっている。	・発達段階、感覚など様々な観点からのアセスメントを用いていく。
2	・奥中山学園の施設や敷地で様々な活動をおこなっている。	・敷地内の作業棟、プレイルーム、戸外などを活用し、安心してのびのびと活動をおこなっている。	・発達段階に合わせた運動や戸外活動などの工夫を図る。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発達支援中、保護者が待機する場所がない。	・保護者送迎で預かりの発達支援を行っているため、お迎え時間によっては近場で待っていただくなどが必要となる。	・保護者の方が交流や情報交換しながら過ごせる場所を検討する。
2	・情報発信が少ない。	・日々の様子は家庭連絡帳を通じてのやり取りが主になっている。	・子ども達の様子を写真などで具体的に知って頂けるように工夫をする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ゆいまある(児童発達支援)

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

6

回収数

6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					ゆいまある(在宅支援棟)のスペースはもちろん、るんだ(作業訓練棟)、交流棟ホールなどの活動スペースを活用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					配置数は適切ですが、増員をするために求人活動を行っています。専門性を担保するために有資格者の確保や研修を実施しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					バリアフリー構造となっています。写真などを使って分かりやすく構造化に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6					清潔で暖かく心地よい空間づくりに努めています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					アセスメントを幅広く行いニーズや課題を明らかにして計画作成しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					支援プログラムは今後ホームページで公表されます。保護者の方にはプリントでお渡しする予定です。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	6					聞き取りを十分に行い、児童発達支援計画に沿って支援しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					ガイドラインの5領域を意識して、支援計画についても細やかに立案できるように様式を変更しました。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					計画に沿って支援しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					固定化や活動がマンネリにならないように工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1			1	るんだるんだ祭りに参加して施設の事も理解が深まりました。イベントも楽しかったです。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約時に丁寧な説明を心掛けています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					計画の説明時に支援内容の説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6					まずは、職員がティーチャーズトレーニングを受けて、ペアレントトレーニング等の支援ができるように研修していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					共通理解につながるよう、コミュニケーションに努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					必要に応じて面談の機会をつくっていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					指導的、指示的にならないように気を付けています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5				1	ゆいまある独自の父母の会は組織していませんが、カナンの園の保護者会研修会などのご案内はさせていただいています。きょうだいで交流は希望を聴いて必要なら実施したいと思います。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					適宜、面談や電話等でお話を聴かせていただき、必要によっては他の機関や制度の紹介をしています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5			1	ことばだけのコミュニケーションではなく、写真カードやイラストなどを使用して分かりやすいように配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		2	カナンの園のホームページに自己評価については毎年、アップしていますが、周知が弱い面もあるので、周知していきます。活動概要については、法人の機関誌に掲載するようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1	カナンの園個人情報保護規程に則って対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			2	契約時に各種マニュアルをお渡しし説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			3	非常時には子どもの安全を守ってくれると信じて預けていますので、どうぞよろしくお願いします。放デイでは避難訓練や消火訓練、通報訓練は年に2回実施しています。その他に防犯訓練や感染症対応訓練など実施していきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1	児童発達支援でも訓練を行う必要があると感じています。児童発達支援独自の訓練を考えていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				契約時にご説明させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				安心、安全な空間や取り組みに心掛けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				安心、安全な空間や取り組みに心掛けていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				満足していただける活動を目指していきます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ゆいまある（児童発達支援）		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・交流棟、作業棟、在宅支援など適切なスペースがあり、活動に応じて利用している。	安全、安心な環境になるように常に点検していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・配置数は適切であるが更なる配置を目指したい。	子ども一人ひとりに合わせた細やかな対応をしていくために増員する方向で考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・写真や絵カード等を使って分かりやすく配慮している。 ・バリアフリーになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日、清掃している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別の空間が持てるように仕切りを設けている。	刺激に弱い子どもに配慮していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・月案を作成し実行し、振り返りをおこなっている。 ・定期的に話し合いを重ねている。活動計画、年度のまとめの作成をしている。	職員全体で話し合い、PDCAサイクルを意識して活動していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者向け評価表を実施し、意向等を把握し業務改善につなげている。	更に保護者の方からの意見を取り入れるように工夫していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・打合せや支援計画、年度のまとめ等の振り返りに意見を把握し業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		外部評価については実施できておりません。ご家族や第三者の意見をお聴きできるように見学会などの開催を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所、支援部、法人、外部研修の機会を作っている。 ・オンライン研修や法人などで研修の機会を設けている。	更に専門性を向上できるように研修等で研鑽します。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・プログラム作成し今後公表予定である。	プログラムは今後プリントしてお渡しします。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者への聞き取りや個票や発達段階のアセスメントなどを用い、ニーズや課題を把握したうえで、5領域を意識して作成している。	児童発達支援計画は5領域も加えて、新たな様式を作成しました。読みやすいかどうか意見をお聞きます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・担当職員で計画について話し合う時間を設け、検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画を記録ファイルに綴り共有し、意識して実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・インフォーマルなアセスメントも行っている。 ・個票を用いたアセスメントを行っている。	アセスメント表はゆいまある独自のものを使用しています。その他に発達段階アセスメントシートを用いてアセスメントを行っています。感覚統合のJSI-Rを用いたアセスメントを試行しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・それぞれの支援を意識して支援プログラムを作成している。 ・ガイドラインを職員に配布し、計画作成にあつたっている。	職員全体でガイドラインの学習を繰り返し行い、理解を深めていきます。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・チームで話し合い、役割分担を実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・月案を作成し、定期的に見直しを行っている。	固定化、活動のマンネリ化しないように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別と集団活動を組み合わせて作成し支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・午前中に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・放課後デイサービスの帰りの送迎があるため、支援の振り返りは翌日におこなっている。明日の欠席者の確認、連絡事項等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日、記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月ごとにモニタリングを実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・未記入1 ・児発管を中心に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・保育所等訪問支援や自立支援協議会で相互理解をおこなっている。 ・行政、保育所、必要に応じ医療機関と連携し支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・保育所と併行利用している児童は保育所等訪問支援を通し、情報共有と相互理解を図っている。	保育所等訪問事業も活用して相互理解を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じて行っている。 ・今年度より、移行先の小学校に支援内容等の引継ぎを実施予定。	保護者からの同意を得たうえで相互理解を進めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	未記入2 ・地域に児童発達支援センターは無いが、岩手県立療育センターと連携し助言を受けている。	療育センター以外にも連携する機関があれば、積極的に活用します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・児発では設定していないが、るんだるだまつり、作業棟の地域開放を通し、地域の子どもたちとの交流の機会を設けている。	保護者からの意見をお聞きして、交流の機会を考えていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳や送迎時などに伝え合い、共通理解を図っている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会で就学について教育委員会の方からお話を頂いた。 ・職員が研修(ペアトレ、ペアプロ)に参加している。保護者交流会で話しを聞き情報交換をしている。 ・法人の保護者会研修などの案内を行っている。 	まずは、職員がティーチャーズトレーニングを受けて、ペアレントトレーニング等の支援ができるように研修していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行っている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・意向確認を行っている。 ・支援計画作成時に面談を行い把握している。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・説明し同意を得ている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・面談や保護者交流会でおこなっている。 	適宜、ご相談に応じていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会を行っている。 ・児発では保護者会活動はしていないが、法人保護者研修会の案内はおこなっている。 	きょうだい支援については、必要性をお聞きして考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組みに乗せて実施している。 	相談については、適宜実施していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・法人機関誌を発信している。 ・保護者交流会の際に活動の様子をお知らせしている。 	SNSの活用は、現在の所考えておりません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・カナンの園個人情報保護規程に則って対応している。 	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・電話やメールなどを活用している。 ・絵カードやジェスチャー等で伝えるなど配慮している。 	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			地域の方にはるんだるんだで無償で施設を開放しています。その他、施設のお祭りで地域住民との交流を促進していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・未記入1 ・子どもの状態を見て訓練の方法を考えていく。 ・マニュアルは整備し、配布している。 	防犯訓練は今後検討をしていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・未記入1 ・今年度、作成し研修を行った。 	継続的に訓練を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に健康シートを記入して頂き把握している。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に把握している。食事提供はない。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 未記入1 ・活動計画を作成している。 	子どもに合わせた訓練を実施していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 未記入1 	安全計画の周知はおこなっていませんが、今後検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・都度、報告書を作成し共有している。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待アンケートを基に話し合いを行い、委員会に報告している。 	継続的に虐待防止研修を実施していきます。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	・身体拘束がある場合に実施している。 ・対象となる子どもはいないが、身体拘束について職員間で確認している。	なるべく身体拘束をしない対応を検討していきます。
--	----	--	---	--	--------------------------